

こんにちは

酒井まさえです



2023年12月3日 No.158 連絡先 日本共産党杉並区議団控室 3312-2111
090-9325-5676 sakaimasae.0507@gmail.com

第4回定例会 一般質問

高齢者の聞こえの支援 さらになる拡充を！

11月17日に行った一般質問では、高齢者の聞こえの支援についても質問しました。

補聴器購入費助成制度の利用者

多く追加予算も

現在、70歳以上の高齢者の半数は加齢性難聴と推計されています。難聴になると、「コミュニケーションがとりにくくなり、家庭のなかでも、社会的にも孤立しやすく、ひきこもったり、認知症にもなりやすくなります。

難聴の人への対処方法の一番は、補聴器をつけることです。

杉並区では、今年の6月から補聴器購入費助成制度が開始されました。住民税非課税世帯の方に上限で45700円、課税世帯の方に上限で22800円が助成されています。制度を利用する人が多く、区議会第3回定例会には追加予算も計上されました。わが党区議団も再三にわたり提案してきたことであり、多くの高齢者に活用されていることを嬉しく思います。



補聴器購入費助成を

実施している区

17区(杉並区+16区)

5区 実施予定・検討



認定補聴器技能者の調整

支援が重要！

一方、制度を利用して購入した区民からは、「補聴器を買ってもなかなか合わず慣れない。外している」という声も聞かれます。補聴器装着の後は、認定補聴器技能者の調整・支援が重要です。他区では、認定補聴器技能者の支援を購入後も位置づけ、「アフターケア証」を発行しているところがあります。

杉並区でも、認定補聴器技能者の支援を強化するよう求めました。



区は、「認定補聴器技能者が配置している店舗で購入することが要件になっているので、アフターケアも受けられている」と答弁しました。

さらに、難聴の早期発見は大事なことです。北区、豊島区では、高齢者健診のなかで聴力検査を実施しています。杉並でも実施を求めました。

区は、「国の動向を注視していく」と答弁していました。

今後、高齢者の聞こえの支援の拡充を求めたいと思います。

第4回定例会 補正予算

児童館廃止を見直し 子どもの居場所づくりへ

補正予算（第5号）の主な内容

- 子どもの居場所づくりの推進 532万5千円
 - ・子どもの意見を聞き「（仮称）杉並区子どもの居場所づくり基本方針」の策定に向けた取り組みを進める
- セーフティネット住宅の家賃低廉化への補助 36万3千円
 - ・住宅確保要配慮者のみが入居可能なセーフティネット専用住宅の賃貸人に対し、家賃を引き下げた差額を補助
 - 補助対象専用住戸数 令和5年度 3戸
 - 補助金額 1戸あたり月額4万円を上限に補助
- 感染症予防・発生時対策 5369万9千円
 - ・新型コロナウイルス感染症類型変更に係る移行期間の延長（R5年9月末までからR6年3月末までに変更）に伴い、区内医療機関にたいする休業期間経営継続支援事業補助金及び入院患者受入加算事業補助金の追加経費
- 特別支援教育 129万8千円
 - ・肢体不自由児童生徒対応に係る階段昇降機購入経費
- 国際理解教育の推進 603万7千円
 - ・外国人児童生徒への日本語指導に係る経費
- 带状疱疹ワクチン助成経費 6952万5千円
 - ・実績増に伴う追加経費
- まちの湯ふれあい入浴 409万円
 - ・実績増に伴う追加経費



第4回定例会に、22事業、12億9689万9千円の補正予算が提案されました。

子どもを対象にヒアリング調査、アンケート実施

補正予算には「（仮称）子どもの居場所づくり基本方針」の策定の関連経費が計上されました。

前・田中区政のもとで、41館あった児童館を今年度末までに23館に削減する方針

針を進めていました。岸本区長は就任後、廃止計画をいったん休止し、検証作業を進めてきました。

今回の補正予算では、子ども自身がどのような居場所を求めているのか、児童館や子ども食堂などを利用する小中学生へのヒアリングやアンケート調査のほか、すでに児童館が廃止された地域での意見聴取や無作為抽出アンケートなどを実施するとしています。

低所得者に対する家賃補助を実施

また、区議団が求めてきた、セイフティネット住宅の家賃低廉化への補助も盛り込まれました。



健康の話 冬の水分補給

師走に入り、忙しい日々を送っていらっしゃると思います。気温も下がってきましたので、風邪予防も大切ですね。

風邪をひかないためにも、冬場の水分補給が大事です。

人の身体の60%は水分です。毎日食べ物や飲み物で、2.5Lの水分摂取をし、尿、便、汗などで同じくらいの量の水分を排出しています。季節が変わっても同じです。

夏は、熱中症予防のため水分補給を意識的にしていますが、冬はあまり意識しなくなります。

冬の水分補給が、大事な理由を挙げてみます。

① 風邪予防になります。

風邪やインフルエンザの原因となるウイルスは、乾燥した状態で活発に動きます。湿度が50%以上になると、活動が低下します。水分補給で、のどや鼻の粘膜をうるおしウイルスの侵入を防ぎます。また、侵入したウイルスを痰や鼻水として外に排出します。

② 脳卒中や心筋梗塞の予防になります。

冬場は、気温が下がり血圧が上昇し、水分が足りないと脳卒中や心筋梗塞を発症しやすくなります。冬場に、水分摂取が少なくなると、血液がドロドロになり、血管が詰まりやすくなります。

冬場も意識して、1.5Lは水分を取りましょう。

忘年会、新年会で、お酒を飲む機会も多くなると思いますが、水分も一緒に取りましょう。

お困りのことがありましたら

酒井にご連絡ください。

